

作成日 2017年12月18日

改訂日 年 月 日

安全データシート(混合物用)

1. 製品および会社情報

製品名 : 塗り床汚れイッキ落ち
会社名 : ヤブ原産業株式会社
住所 : 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷 546
担当部署 : 販売営業部
作成者 : 技術部
電話番号 : 048-297-4111 FAX番号 : 048-290-1198
緊急連絡先 : 048-297-4111
推奨用途及び : 塗床材等の表面洗浄
使用上の制限
整理番号 : 152008

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分2(神経系、肝臓)
	特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分2(神経系、呼吸器、消化管、 肝臓、腎、精巣)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(慢性)	区分3

* 上記で記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外化分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

重篤な眼の損傷

神経系、肝臓の障害のおそれ

長期又は反復ばく露による神経系、呼吸器、消化管、肝臓、腎、精巣の障害のおそれ

水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の情報

分類の名称：該当しない
危険性：該当しない
有害性：目に対して刺激性があり、長時間皮膚に接触すると、肌荒れを起こすことがある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

物質の特定 成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量(%)	備考
界面活性剤 (直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩)	25155-30-0	5.2	
ココアンホプロピオン酸Na	91053-17-7	1～5	
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	7.0	
2-アミノエタノール	141-43-5	1.5	
ピロリン酸カリウム	7320-34-5	5～10	
水軟化剤、色素、他			

4. 応急措置

眼に入った場合： 清浄な水で最低 15 分洗浄した後、異常があれば医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合： 直ぐにコップ 1～2 杯の牛乳または水、あるいは生卵を飲ませる。

※吐物や泡が気管にはいると肺炎をおこす可能性があるため、無理に吐かせない。

また、自然に嘔吐が生じた場合は、吐物を吸入しないように注意する。嘔吐や下痢症状が激しい場合、様子がおかしい場合は医師に相談する。

5. 火災時の措置

本製品は不燃性であるが、加熱した場合、着火源があると燃える事がある。

消火剤： 水、泡沫、粉末、炭酸ガス

消火方法： 消火作業の際は風上から行き、適切な保護具を着用し、周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。必要に応じて、呼吸用保護具も着用する。

初期の火災： 水、粉末、泡沫、炭酸ガス

大規模火災： 大型泡沫消火器が有効である。

周辺火災： 可能なかぎり容器は安全な場所に移動する。

消化を行う者の保護： 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置： 必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。漏洩した場所周辺にはロープを張るなどして人の出入りを禁止する。

環境に対する注意事項、封じ込め及び浄化の方法・機材： 少量の場合は布巾などで拭き取る。大量に流出した場合は回収して適切な容器に入れる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 目、皮膚及び衣類等に触れないように、また、吸引しないように保護具を着用する。

取り扱い後は、手、顔、身体をよく洗う。

詰め替え作業は眼に入らないように適切な保護具を着用し、容器が破損しないように、乱暴な取り扱いを避ける。

注意事項： 容器は手荒な扱いをせず、内容物の漏洩を防止する。

保管

技術的対策及び保管条件： 直射日光を避け、風通しの良い室内に密栓して保管する。

保管条件
注意事項： 転倒、転落しないように注意する。

8. 暴露防止処及び保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会勧告値： なし

労働省告示の管理濃度 : なし

ACGIH勧告値 : なし

設備対策 : 取り扱い場所の近くに水洗、洗眼装置を設置する事が望ましい。

保護具

呼吸器用の保護具 : 作業を行う場合には、ミスト防止マスクを着用すること。

手の保護具 : ゴム製保護手袋を着用すること。

目の保護具 : ゴーグル型保護メガネ、必要に応じて顔面シールドを着用すること。

皮膚及び身体の保護具 : 作業着、安全靴、またはゴム長靴を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 緑色透明液体

臭い : 特異な臭い

pH : 11.0 ~ 14.0 (25℃、原液)

融点・凝固点 : データなし

沸点、初留点及び沸点範囲 : データなし

引火点 : データなし

燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

比重 (相対密度) : 1.040 ~ 1.100 (25℃、原液)

溶解度 : データなし (水に溶解)

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

可燃性 : 消防法に該当しないが加熱などにより着火源があると燃える。

発火性 : 通常の条件ではなし

安定性・反応性 : 通常の条件では、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。

11. 有害性情報

皮膚腐食性・刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

特定標的臓器・全身毒性－単回ばく露 : 区分2 (神経系、肝臓) 神経系、肝臓の障害のおそれ

特定標的臓器・全身毒性－反復ばく露 : 区分2 (神経系、呼吸器、消化管、肝臓、腎、精巣) 障害のおそれ

急性毒性 : データなし

皮膚腐食性・刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データなし

呼吸器感作性または皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: 区分外または分類できないデータなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器/全身毒性-単回暴露	: データなし
特定標的臓器/全身毒性-反復ばく露	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

1.2. 環境影響情報

生殖毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生物蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
水生環境有害性（急性）	: 区分2
水生環境有害性（慢性）	: 区分3

・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与えることがある。

・特に製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れ込まないようにする。

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃薬品、容器等の処理は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をし、処理すること。
 廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法規に従って処理を行うか、委託を行うこと。
 焼却処理をする場合には、珪藻土、布等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却すること。
 界面活性剤を含有するので、排水処理をする場合には、凝集沈殿、活性汚泥処理等の廃水処理により、法律及び関係する法規の規制値以下にして河川等に排水する。

汚染容器及び包装 : 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1.4. 輸送上の注意

共通

取り扱い、保管上の注意の項の記載による他、一般的注意事項に従うこと。

容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込む。また、輸送中に互いに衝突して破損することのないように、予め適当な緩衝材を詰める等の処置をし、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規定

国連番号 : 該当なし

陸上輸送 : 該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法に従うこと。

航空輸送 : 航空法に従うこと。

15. 適用法令

- 消防法 : 該当せず
- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物
ジエチレングリコールモノブチルエーテル
2-アミノエタノール
名称等を表示すべき危険物及び有害物
ジエチレングリコールモノブチルエーテル
2-アミノエタノール
- 水質汚濁防止法 : 施行令（排出基準）BOD、COD
- 毒物・劇物取締法 : 該当せず
- PRT法 : 該当（1-30 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）
- 化審法 : 該当せず
- 船舶安全法 : 該当せず

16. その他の情報

参考文献

- 14303の化学商品 化学工業日報者
- GHS分類結果データベース NITE（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）HP

記載内容の取り扱い

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

本文章の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取り扱いには細心の注意が必要です。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。

記載された物性値、含有率などは、製品の一般的な値を示した物で、規格値、保証値ではありません。